

京都教育センター公開研究会

主催：京都教育センター学力・教育課程研究会、教科研・国語部会

新学習指導要領批判 連続学習会【第2回】

今春に告示された新学習指導要領は、改悪された教育基本法や初の教育振興計画を背景にして、今までにない「拘束性」をもつことが懸念されます。しかし、10年に一度、「振り子」のようにぶれまくる指導法を「信じて実践してきた」私たちからみれば、「もういい加減にしてくれ！」といたいところです。

「生きる力」「ゆとり」「基礎基本の充実」「指導でなく支援を」「意欲関心の重視」「総合的な学習」など、継続されないブレ方です。

今こそ、トップダウンでない自前の教育課程、授業実践プランを持たなければすべての子どもたちへの学力保障に責任が持てません。

「ぶれまくる学習指導要領に

振りまわされない教育課程づくりを！」

9月13日(土) 13:00 教育文化センター101

講演「ぶれまくる学習指導要領に振りまわされない、自前の教育課程を今こそ！」

～戦後のGS改訂の変遷を検証する～ 小野英喜氏(立命館大学、センター学力研事務局)

○ 実践報告「私はこう実践する」

[小国語] 得丸浩一氏(市内梅津北小)

[中社会] 辻 健司氏(市内双ヶ丘中)

・ 討論

・ まとめ/閉会 浅尾紘也氏(教育センター国語研事務局)



◆ 「学習指導要領」連続学習会Ⅲの予定:11/29(土)13:00 教文202 英語・芸術・道徳

◆ 「大学問題を考える」公開シンポ ～学費・法人化・学力～ 10/13(土)<予定>13:00 教文202

※今からご予定を！

第39回 教育センター研究集会

教文センター全館にて

2009年1月24日(土) プレ集会、記念講演、実践報告

25日(日) 各研究会による8分科会